

祝 辞

本日ここに、北海道白老東高等学校が、創立 30 周年の節目を迎えられ、多くの関係者のご臨席の下、記念式典がこのように盛大に挙行されますことに、北海道教育委員会といたしまして、心からお喜び申し上げます。

顧みますと本校は、昭和 62 年に地域の教育に対する大きな期待を担い全日制普通科の高等学校として開校いたしました。この間、3730 名の卒業生が本校から巣立ち、未来を担う有為な人材として、道内外の様々な分野で活躍されておりますことは、誠に喜ばしい限りであります。

本校は、「自他の生命を尊重し、心身ともに健康でたくましく生きる人間の育成」、「自ら学び、創造的で知性豊かな人間の育成」、「礼儀正しく、思いやりのある心豊かな人間の育成」を教育目標に掲げ、知・徳・体の調和のとれた人材育成を目指し、教職員が一丸となって創意工夫あふれる教育活動に取り組んでこられました。

特に、生徒が自ら将来を考えて進路を選択し、進路実現が図られるよう、入学から卒業までの 3 年間を見通した計画的・継続的なキャリアの計画に基づき、生徒一人一人の個性や能力の伸長を図るきめ細やかな進路指導に取り組んでおられます。

また、平成 10 年度から取り組んでいる「生徒・保護者・教職員の三者協議会」では、学校と保護者、生徒が一緒になって明日の白老東高校づくりについて、真剣に語り合う貴重な場となっており、地域とともに歩む学校として注目されているところであります。

さらに、部活動においては、弓道部の全国高等学校弓道選抜大会出場や、新聞部の全国高校新聞コンクール受賞など、多くの部・局が全道・全国大会に出場するなど、優秀な成績をおさめております。

本校がこのような輝かしい伝統を築き、今日まで発展を遂げてこられたのは、歴代の校長や教職員の皆さんの御尽力はもとより、生徒の皆さんの努力、PTA や同窓会、地域の皆様の温かい御支援、御協力の賜物であり、ここに深甚なる経緯と謝意を表するものであります。

本校で学ばれている生徒の皆さんは、この記念すべき日を新たなスタートとして、これまでの先輩方の歩みを振り返るとともに、校訓である「自彊 聡明 礼節」に込められた思いを今一度心に刻み、自分たちの力で北海道白老東高等学校の歴史の新たなページを拓き、これまで以上に充実した学校生活を送っていただきますよう、心から期待しております。

また、教職員の皆様方におかれましては、これまでの優れた教育実践を踏まえつつ、将来の北海道を担うにふさわしい、自立の精神にあふれ、優しさとたくましさを兼ね備えた生徒の育成を目指し、本校の教育の充実・発展のため一層ご尽力いただきますようお願い申し上げます。

結びになりますが、本校の教育の振興にひとかたならぬご尽力をいただきました関係者の皆様方に、重ねて深く感謝を申し上げますとともに、本校のおますますの発展を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

平成二十八年十月二十九日

北海道教育庁胆振教育局長 阿部 清明